

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【令和 4 年度】

※1～6, 9:施設所管課記入
7:指定管理者記入
8:指定管理者及び施設所管課記入

指 定 管 理 者 名	敷玉地区振興協議会
施 設 所 管 課	地域交流センター

1. 施設名

施設名	大崎市古川敷玉地区公民館	施 設 の 住 所	大崎市古川石森字石神69番地
		電 話 番 号	0229-24-0750

2. 施設の概要

設 置 年 月 日	昭和49年4月1日	設置条例等	大崎市公民館条例(平成18年大崎市条例第126号)
設 置 目 的	教育, 学術及び文化に関する各種の事業を行い, もって市民教養の向上, 健康の増進及び情操の純化を図り, 生活文化の振興及び社会福祉の増進に寄与する。		
施 設 の 内 容	敷地面積:3067.00㎡ 延床面積:615.00㎡ ホール・研修室(1)・研修室(2)・和室・調理実習室・事務室		
利 用 料 金	(区分)午前 9:00～13:00 午後 13:00～17:00 夜間 17:00～21:00 ホール:1,300円 研修室(1):500円 研修室(2):500円 和室:500円 調理実習室:900円		
閉 館 日 , 開 館 時 間	閉館日:12月29日から翌年の1月3日まで 開館時間:午前9時から午後9時まで		

3. これまでの管理運営状況

期 間			管 理 形 態		管理受託者又は指定管理者等
平成	25 年度～平成	26 年度	1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他	3	敷玉地区振興協議会
平成	27 年度～平成	29 年度	1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他	3	敷玉地区振興協議会
平成	30 年度～令和	4 年度	1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他	3	敷玉地区振興協議会
令和	5 年度～		1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他	3	敷玉地区振興協議会

4. 現指定管理者の指定期間

指定期間	令和 5年 4月 1日	～	令和 10年 3月31日	(5 年 0 ヶ月)
選定方法	2	1.公募 (応募者数: 団体)	2.非公募	

5. 指定管理料

令和 4 年度(ア)	令和 3 年度(イ)	(ア) - (イ)
12,458 千円	12,561 千円	-103 千円

※(ア)は当該年度, (イ)は前年度とし, それぞれ決算額ベース。

6. 指定管理者が行う管理運営業務の内容

指定事業(業務): 1.生涯学習事業に関する業務 2.管理物件の利用許可等に関する業務 3.管理物件の維持管理に関する業務
自主事業:

7. 利用実績等

(1)利用者数

(単位:人, 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
令和 3 年度	109	61	163	937	145	157	1,791	405	518	275	172	353	5,086
令和 4 年度	1,932	503	345	2,555	300	489	518	545	479	463	547	571	9,247

主な増減要因	利用者数増については、4月と7月は選挙投票所になっているためと、7月に限っては市民健診の会場でもあったための増である 感染症対策としての活動自粛が少しずつ緩和されてきたことにより全般的に利用者増に転じている
--------	---

※上段に前年度実績を記載し、下段に当該年度実績を記載すること。

※指定事業に係る利用者数を記載し、自主事業による人数・件数は記載しないこと。

(2)利用料金収入

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
令和 3 年度	1.5	0.0	0.5	4.6	4.1	0.5	5.9	5.7	17.0	15.7	9.4	10.2	74.95
令和 4 年度	4.6	2.7	0.8	9.1	10.1	3.3	5.1	9.4	11.2	20.7	27.3	8.3	112.55

主な増減要因	収入増の大きな要因としては、ホールの稼働率が高いことに伴い、冷暖房機器の使用率が上がったことによるもの 特に夏場の大型エアコン使用率が上がったため
--------	---

※上段に前年度実績を記載し、下段に当該年度実績を記載すること。

※指定事業に係る利用料金を記載し、自主事業による収入は記載しないこと。

(3)サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取組み

- ◆**感染防止対策**:各部屋に消毒関連一式を常設することで利用者の感染症への意識向上につながった。消毒の声掛け無しでも自発的に取り組むようになった
- ◆**サークル活動の周知協力**:公民館だよりに各サークルの活動日を掲載することで、各サークルへの入会者増につながった
- ◆**地域団体印刷物の配達**:毎戸配布の印刷物を公民館だより配布と合わせ各行政区長に配達することで、地域団体の負担支援
- ◆**掲示物**:行政区の活動発表の場を提供することで、地区住民の活動意欲に繋がることを期待
- ◆**事業開催周知(公民館だより)**:事業目的等の記載や事業名で概ねの内容を把握できるような工夫をすることで、応募するにあたっての不安や疑問点の解消につながったが、限られたスペースに対し情報量が多いので読みづらくなってしまう場合もあり
- ◆**館内に血圧計設置**:施設利用者や来館者に気軽に使用していただき、健康意識向上に期待

(4)施設利用者の主な声やその対応状況

- ◆**自動販売機の間合せ**:利用者から自販機はないのかとの問い合わせがあったが、隣接地に設置されていることを紹介しご理解いただいた。年間を通してほとんど設置希望のご意見もないことから、当面、設置は考えていない
- ◆**地域外の利用者の声**:公民館だよりでの募集事業について、地区外からの参加問い合わせが年々増加している。ほとんどの事業で居住地の制限は設けていないが、地区外とのことで参加を躊躇したり、または遠慮しながらの参加であるとお声があったので、不安解消になるよう丁寧に説明させていただいている。公民館だよりが配布されない地域の方には、希望があれば公民館からその都度情報提供させていただいている

(5)施設の管理運営における課題

- ◆**施設について(建物・敷地)**:市当局及び指定管理運営にて、概ねの緊急修繕箇所等については解決済である。しかし今後修繕の必要な廊下については、予算的に大変厳しい状況であるので今後の対応については市当局と情報共有を兼ね相談させていただきたい
- ◆**事業について**:継続的な課題ではあるが、事業参加者の高齢化が進み事業内容に配慮が必要なケースが多くなってきている。事業のねらいや目的に沿った運営は基本であるが、学習の場の提供を削がない配慮も必要と考える。企画する側のスキルアップは当然ながら情報収集や他公民館との情報交換も大事にし、誰一人取り残さない事業運営を心がけていく必要がある

8. 管理運営状況

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価
------	------	------	------

1 施設全般の管理運営に関する業務 ※ 該当しない項目については、「－」を記入してください。

(1) 人員配置	管理運営に必要な人員及び有資格者を配置している。	○	○
(2) 職員研修	業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
(3) 管理記録	各種の管理記録(業務日誌等)を適切に整備、保管している。	○	○
(4) 安全管理	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
(5) 清掃・維持管理	施設、設備等の保守点検や維持管理等を適切に行っている。	○	○
(6) 施設等の修繕	施設や備品等の修繕を適切に行っている。	○	○

2 利用者に関する業務

(1) 利用状況	事業計画書等に基づく利用者数や施設の稼働率がある。	○	○
(2) 利用料金	利用料金の設定、徴収、減免、還付等の手続きを適切に行っている。	○	○
(3) 利用者満足度	利用者ニーズの把握に向けた取組みを行っている。	○	○

3 事業の実施

(1) 指定事業	仕様書、事業計画書に基づく事業を実施している。	○	◎
(2) 自主事業	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	－	－

4 個人情報の取扱い

(1) 個人情報の保護	協定書等に基づき適切に個人情報を取扱っている。	○	○
-------------	-------------------------	---	---

5 管理運営業務の収支等

(1) 収支状況	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
(2) 効率的な運営	経費の節減や利用料金収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	○
(3) 経理事務	専用口座、帳簿等を備え、適切な経理事務を行っている。	○	○

評価	評価の考え方
◎ (優良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○ (良好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△ (課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
× (改善要)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が行われなかったため改善を要する。

9. 施設所管課の総合評価

公民館事業では、関心を持ってもらえるような事業名で募集したり、多様なジャンルの講座を実施している。加えて、敷玉地域以外の市民に対しても参加を可能としていることで公民館利用者拡充を図っている。また、コロナ過で子ども会活動が停滞しているなか、公民館が共催し支援することで子育て世代との接点を持てたことは大変有意義なものであるため、今後も継続して支援していくことで地区公民館ファンが増えることを期待します。